

東京国立 博物館 ニュース

第699号
展示と催し物
案内

2-3 ● 没後400年 特別展 長谷川等伯

4-5 ● 博物館でお花見を

6 ● 特別展 細川家の至宝
珠玉の永青文庫コレクション

7 ● 東京国立博物館コレクションの保存と修理

8-11 ● 平常展見どころ案内 2010年2月・3月
国宝 千手観音像／特集陳列「おひなさまと人形」ほか

12-13 ● みどりのライオン 教育普及事業

14 ● INFORMATION 15 ● TOPICS

16 ● 2010年2月・3月の展示・催し物

2010

23

月号



没後四〇〇年 特別展

長谷川等伯

二〇一〇年二月、長谷川等伯の没後四〇〇年の節目に、その画業を網羅する大回顧展がいよいよ開幕します。仏画、肖像画、金碧画、水墨画と幅広いジャンルで作品をのこした等伯。今号では年代順に、見どころとなる作品をご紹介します。

永祿七年（一五六四）

二十六歳

重要文化財

釈迦多宝如来像

まばゆく輝く信仰の絵画

元亀三年（一五七二）

三十四歳

重要文化財

日堯上人像

「等伯・信春同人説」の根拠となった肖像画



◎釈迦多宝如来像 長谷川等伯（信春）筆
室町時代・永祿7年（一五六四）富山（高岡市）・大法寺蔵

等伯は天文八年（一五三九）に能登七尾で生まれ、信春と名乗り、仏画を描く絵仏師として活動しました。信春自身も日蓮聖人を宗祖とする法華信徒でした。この作品は、釈迦如来と釈迦の説法を称え法華経の真実を証明する多宝如来を描いたもので、日蓮諸宗でたいへん重要な仏です。二仏と菩薩たちが金泥によって壮麗に裝飾され、黄金に輝いています。仏たちの金色の輪郭線や金で塗りこめられた衣は、まるで光があふれ出ているかのようです。能登にいたころの等伯は、このように繊細で優美な仏画を多く描きました。

（松嶋雅人）



◎日堯上人像 長谷川等伯（信春）筆 室町時代 元亀3年（一五七二）京都・本法寺蔵

等伯は、生家奥村家の菩提寺七尾本延寺の本山である本法寺を頼って上京したと考えられています。本図は、画面の署名から、元亀三年（一五七二）に三十歳で亡くなった本法寺第八世日堯上人を描いたものとわかります。病魔に冒されたやつれたような表情は、明るく華麗な彩色と対照的な印象を受けます。この絵には等伯ではなく信春の署名がありますが、画中に記された年齢と父の名前が、等伯のそれと同じことから、信春が等伯と改名する以前の名前であったとする根拠となっています。三十四歳の作品で、等伯が京都で活躍し始めた頃の作品です。

（田沢裕寛）

没後四〇〇年 特別展「長谷川等伯」

2月23日（火）～3月22日（月・休） 平成館

主催…東京国立博物館 毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション

後援…文化庁 特別協賛…大塚家具

協賛…J.R.東海、大成建設、日本写真印刷、みずほ銀行

観覧料金…一般1,500円（1,300円/1,200円）、大学生1,200円（1,000円/900円）、高校生900円（700円/600円）

※（内）は、前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料。入館の際、年齢のわかるものをご提示ください。※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、障害者手帳などをご提示ください。

お問い合わせ…ハローダイヤル 03・5777・8600

巡回展…京都国立博物館 4月10日（土）～5月9日（日）

関連事業

ワークショップ

「水墨画に挑戦！～長谷川等伯の筆使いを学ぶ～」

長谷川等伯の代表作「松林図屏風」。霧のなかに浮かび上がるように墨の濃淡で描かれた松は、近寄ってみると硬い筆を使って意外に力強く表現されています。簡単な「水墨画」を体験し、等伯の魅力に近づいてみましょう。

日時…①2月28日（日）10時30分～12時

②2月28日（日）14時～15時30分

講師…川越良昭氏（日本画家）

会場…平成館小講堂 対象…中学生、高校生 定員…各回20名

参加費…無料 締切…①②ともに2月16日（火）必着

「屏風体験～松林図屏風を部屋に置いてみよう～」

屏風を使ったことはありますか？さまざまな絵が描かれた屏風は、大きな空間を仕切る実用品でもありました。現代の生活のなかで、間仕切りとして屏風を使うことはほとんどなくなりしました。江戸時代の茶室・応挙館で、「松林図屏風」の複製を使って屏風のある空間を体験してみましょう。

日時…①3月7日（日）11時～12時

②3月7日（日）13時～14時

③3月7日（日）14時30分～15時30分

会場…応挙館 対象…小学生・中学生とそのご家族

定員…各回10組 参加費…無料

締切…①②③いずれも2月23日（火）必着

申込方法…往復はがきに、①参加者全員の氏名・ふりがな②学校名・学年③郵便番号・住所④電話番号・FAX番号⑤参加希望の日付と回を明記の上、左記申込先へお送りください。

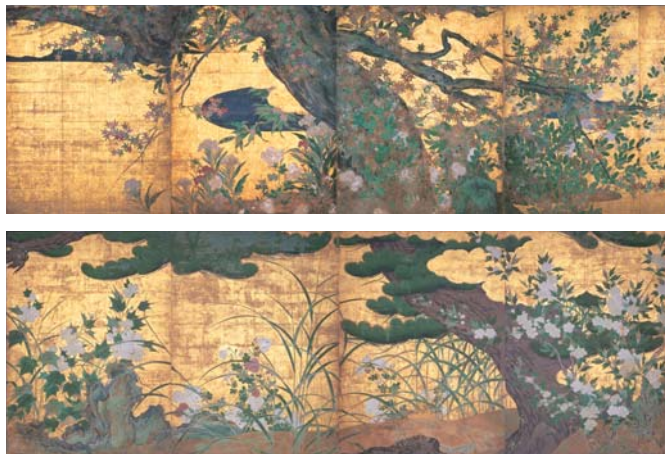
申込先…〒106-8611 東京都港区西麻布2-25-18 麻布パレスビル「長谷川等伯」広報事務局「水墨画ワークショップ」または「屏風ワークショップ」係

文禄元年（一九九）
五十四歳頃

国宝
楓図壁貼付

松に秋草図屏風

極楽往生を願う金碧画



上：●楓図壁貼付 下：●松に秋草図屏風
長谷川等伯筆 安土桃山時代・文禄元年（1592）頃 京都・智積院蔵

天下人豊臣秀吉は、三歳で夭折した嫡子鶴松の菩提を弔うために祥雲寺（現在の京都・智積院）を建立しました。このとき等伯は徳川家康のいう「日本第一の寺」の金碧障壁画に揮毫する機会を手中にしたのです。
楓は両腕を広げるように雄々しい姿で描かれ、紅葉や木犀、鶏頭、萩、菊の秋草は、幼くして亡くなった鶴松を包み込むように優しく画面を彩り、巨大な松の葉の下には薄く、菊や芙蓉の秋草が咲き誇っています。これら秋草は花を散らすこともなく、枯れることもない浄土の世界を華麗に彩っているのです。
（松嶋雅人）

年代不詳

？歳頃

松林図屏風

すべての人を魅了する至高の水墨画

この絵は、墨の濃淡だけで風と光の情景を生み出しています。そして墨の濃さの加減によって、松の木々の遠近をあらわしています。しかし画面に近づいてみると、後ずさりするような迫力ある筆づかいです。この荒々しい筆づかいが、遠くからみると松林のうつすらと浮かび上がる姿に見えるのです。

霧で湿った大気の充滿する林のなかに涼やかな風が通り抜けていくように、絶妙な位置に松の木々が配置されています。この絵の前に立てば、まるで自分が松林のなかにいるかのような感覚を得ることができそうです。
（松嶋雅人）



●松林図屏風 長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀

慶長四年（一九九）
六十一歳

重要文化財
仏涅槃図

三大涅槃図のひとつ

仏弟子や動物たちが集まり、釈迦の死を嘆き悲しんでいます。華やかな唐草模様を手で描いた表装を含めれば、高さ十メートルにおよぶこの大涅槃図は完成時に宮中で披露された後、等伯自身が本法寺に寄進しました。東福寺の明兆の作、大徳寺の狩野松榮の作とともに三大涅槃図といわれています。

この絵の裏には目蓮聖人以下の祖師たちの名、本法寺開山の日親上人以下の歴代住職、等伯の祖父母や養父母、そして二十六歳の若さで先立った息子久蔵の名前が記されています。等伯の篤い信仰と一族への祈りが込められた作品と言えます。
（松嶋雅人）



◎仏涅槃図 長谷川等伯筆 安土桃山時代・慶長4年（1599） 京都・本法寺蔵

春爛漫 桜まつり開催!

博物館でお花見を

3月24日(水)～4月11日(日)



満開のヨシノシダレと東京国立博物館本館

静かな庭園はもちろん、絵画や工芸の名作のなかで咲き競う桜をお楽しみください。

桜花爛漫のこの季節、上野の山は大変なにぎわいですが、静かにお花見を楽しみたい方には東京国立博物館が最適です。正門を入ると桜色の滝のようなヨシノシダレがお迎えます。本館北側の庭園にはミカドヨシノ、オオシマザクラ、エドヒガンシダレなどさまざまな種類の桜があります。法隆寺宝物館の近くにはレモンイエローの花をつけるギョイコウザクラもご紹介します。お茶室や特設のカフェでひと休みの後、ぜひ本館展示室をご覧ください。桜を主題にした作品が咲き競っています。日本人がどれほど桜に愛着を持ってきたかが伝わってくるでしょう。なかでも国宝の「花下遊楽図屏風」は、十七世紀の花見の宴のようすを描いたもの。楽器を奏で、歌い、舞い、傍らでは御膳の用意をしています。花を愛で、作品に親しみ、そしてさまざまなイベントをお楽しみください。

(神辺知加)



本館北側庭園のエドヒガンシダレ



色絵桜樹図透鉢 仁阿弥道八作
江戸時代・19世紀
3月16日(火)～6月13日(日)
本館13室で展示



春の庭園開放は3月13日(土)～4月18日(日)です

関連事業

ボランティアによるガイドツアー「東博桜めぐり」

日時:3月25日(木)、27日(土)、30日(火)
4月1日(木)、3日(土)、6日(火)、8日(木)、10日(土)、
13日(火)、15日(木)
11:00~11:45、14:30~15:15 (45分間)

集合:本館エントランスホール

当館前庭および北側庭園にある桜と桜にちなんだ展示作品の簡単な解説を行います。

※荒天で庭園開放が中止の場合、庭園内の桜の解説は行いません

応挙館茶会「花見で一服」

日時:3月27日(土)、4月4日(日) 12:00~15:00

会場:庭園内茶室 応挙館(直接お越しください)

定員:先着300名

参加費:500円

庭園内茶室・応挙館で抹茶をお出しいたします。本茶会は特定流派での実施はいたしません。実施時間内であればいつでもご参加いただけます。また会席ではなく呈茶式で行います。

※終了時間より前に定員に達した場合は、その時点で茶会も終了となります。また荒天により庭園開放が中止の場合は法隆寺宝物館ラウンジとなります。あらかじめご了承ください。

このほか、桜をテーマにした作品解説やセミナー、春と桜の名曲コンサートなどを予定しています。詳細は、本誌4・5月号、および東京国立博物館ホームページなどでお知らせします。



●花下遊楽図屏風 狩野長信筆 安土桃山~江戸時代・17世紀
3月24日(水)~4月11日(日) 本館2室 国宝室で展示



飛鳥山花見 勝川春潮筆 江戸時代・18世紀
3月9日(火)~4月11日(日) 本館10室で展示

本館16室 歴史資料

江戸・明治の博物図鑑に見る桜

シリーズ「歴史を伝える」

特集陳列「博物図譜」

桜を中心に

3月9日(火)~4月25日(日)

日本における博物学は、享保年間(一七一六~三五)に江戸幕府が全国的な物産の調査を行ったのがきっかけで流行しました。写生によって物のかたちを詳しく記録することは、博物学の流行する以前にも、心覚えのスケッチとして行われていましたが、なかには自然科学への関心の高まりがうかがえるものもあります。今回の展示では、季節にちなんだ桜を中心として、博物画の先駆けともいえる狩野探幽(一六〇二~一七四)の写生図から、明治時代の実用的な掛図にいたるまでの、生き生きとした楽しい博物図譜をご紹介します。(高橋裕次)



左:博物図譜 江戸~明治時代・19世紀
この図譜は、他の主要な図譜と共通の素材をもとにしながら、図の描き方や注記が異なっており、図譜の制作過程などを考える上で重要な資料の一つです

下:写生帖 円山応挙筆 江戸時代・18世紀
自然観察を重視した応挙は、多くの写生図を残しています





細川藤孝(幽斎)像 田代等南筆
江戸時代・17世紀 永青文庫蔵
近世細川家の祖。関ヶ原の戦いの前哨戦では、石田三成の軍に囲まれ窮地に陥りますが、その死によって「古今伝授」が途絶えることを恐れた後陽成天皇の異例の勅命によって助けられたというエピソードが残っています
※4月20日(火)～5月9日(日)展示



細川忠興(三斎)像 大淵玄弘賛
江戸時代・慶安4年(1651) 永青文庫蔵
利休の弟子の多くが非業の死をとげるなか、利休の茶の湯の世界を忠実に後世に伝えた数少ない人物。今日、利休の茶が伝えられているのは、三斎のおかげと言っても過言ではありません
※4月20日(火)～5月9日(日)展示



細川護立氏(細川家16代当主)
禅画、刀剣から中国・アジアの美術工芸、マティスやルノワールなどの洋画までコレクションの幅の広さと鑑識眼の確かさは当代随一。
横山大観・菱田春草・小林古径など同時代の画家の活動を支えたことでも知られています

「特別展」—— 予告

細川家の 至宝 珠玉の永青文庫 コレクション

二〇二〇年は、近世細川家の祖細川藤孝(幽斎)没後四百年、そして永青文庫を創設した十六代当主細川護立没後四十年にあたります。この記念すべき年に細川家ゆかりの作品を紹介する展覧会を開催します。
今号では、日本の伝統文化を今に伝える細川家の歴史を彩る人々を紹介しましょう。

細川氏の始まりは、源義家(八幡太郎)の末、足利義季が三河国額田郡細川郷に居を構えた鎌倉時代に遡ります(中世細川家)。室町時代には足利一門として幕府管領の要職を占めました。が、戦国の世になると傍流の細川藤孝(幽斎)が頭角を現します(近世細川家の祖)。

細川藤孝はその子忠興(三斎)と共に、信長・秀吉・家康ら時の権力者と絶妙な関係を築き、細川家は後に肥後熊本五十四万石の藩主として明治維新を迎えます。

この近世細川家は多彩な人物を輩出しました。幽斎は古今和歌集の解釈などの秘事を伝授された「古今伝授」の歌人・歌学者、三斎は千利休の茶を忠実に受け継ぎ後世に伝えた数少ない茶人でした。忠興の妻・玉(ガラシャ)は明智光秀の娘として生を受け、後にキリスト教に入信しました。

関ヶ原の戦いでは人質となるのを拒んで大坂玉造邸で自害したことで知られています。また、肥後の鳳凰として名君のよび声高い八代当主重賢は藩政改革を推進する一方、学問を重視し、とりわけ博物学に多大な関心を寄せ多くの著作を遺しています。

細川家伝来の文化財を護り伝えるために永青文庫を設立し、近代日本を代表する美術コレクションである護立氏は近世細川家の十六代、現当主護熙氏は十八代にあたります。

本展では、多士済々の細川家の歴史を絵画や文書・歴史資料から紹介し、また中世以来の武家にふさわしい優れた美術品を、ご覧いただきます。さらに、護立氏のコレクションから選り抜きの名品を紹介し、その鑑識眼と人物像に迫ります。

(富坂賢)

東	京	国	立	博	物	館
コ	レ	ク	シ	ョ	ン	の
		保	存	と	修	理

3月16日(火)～5月9日(日) 平成館 企画展示室

加彩舞女

中国唐代・
7～8世紀
広田松繁氏寄贈



修理前> 結った髪や左手、衣装の一部が破損していました



修理後> 制作当初に近い、愛らしい舞女の
唄が再現されただけでなく、専用の
展示台によってより安全な展示が
可能となりました

東

京国立博物館保存修復課では、文化遺産を安全かつ適切に未来へ伝えていくために、作品の展示・収蔵環境を調査しつつ、毎年多くの作品修理を行っています。特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」では、修理を終えてふたたび展示公開することができるようになった作品をご紹介します。

二〇〇八年から二〇〇九年にかけて、一五〇件近くの作品の本格的な修理を行いました。今回は、絵画、書跡、歴史資料、工芸、考古の多岐にわたる分野から、選りすぐった十九件の作品を展示いたします。

この展示では、修理後の作品を披露するだけでなく、修理前の損傷状況や詳しい修理工程をパネルでわかりやすく紹介し、これらの修理の過程で明らかになった貴重な情報をご紹介します。

通常の展示では見ることのできない保存と修理の世界を、ぜひお楽しみください。(三笠景子)

● 講演会

「文化財と科学をとりもつ仕事」 荒木臣紀(当館環境保存室主任研究員)
日時: 4月10日(土) 13:30～15:00 会場: 平成館大講堂
定員: 380名(先着順) 聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

● 列品解説

日時: 3月16日(火)、30日(火)、4月6日(火)、13日(火)、20日(火)、23日(金)
14:00～14:30 会場: 平成館企画展示室
*3月の解説の詳細は12ページを、4月の解説の詳細は本誌4・5月号をご覧ください

● 見学ツアー

「保存と修理の現場へ行こう」

文化財の保存と修理についての解説、および修理室の見学ツアーを行います。*詳細は12ページをご覧ください

展覧会
DATA

特別展「細川家の至宝
珠玉の永青文庫コレクション」

4月20日(火)～6月6日(日) 平成館

主催: 東京国立博物館、永青文庫、NHK、
NHK プロモーション、朝日新聞社

協賛: トヨタ自動車、日本写真印刷

観覧料金: 一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)

※()内は、前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料。入館の際、年齢のわかるものをご提示ください

※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、障害者手帳などをご提示ください

お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600

巡回展:

京都国立博物館 2011年10月8日(土)～11月23日(水・祝)

九州国立博物館 2012年1月1日(日・祝)～3月4日(日)

関連
事業

記念講演会

4月24日(土) 13:30～15:00

「細川家 美と戦いの700年」

永青文庫理事長 細川家18代当主
細川護照氏

会場: 平成館大講堂

定員: 380名(事前申込制)

聴講無料(ただし特別展「細川家の至宝」の観覧券が必要、半券でも可)

申込方法: 往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込ください。

※1枚のはがきで、2名まで申込可。2名の場合はそれぞれの氏名をお書きください

申込先: 〒116-0013 日本郵便 荒川支店 私書箱
22号「細川家の至宝展 記念講演会」係

申込締切: 4月2日(金)必着



細川護照氏
(永青文庫理事長・
細川家18代当主)
© 飯島幸永

平常展見どころ案内 2010年2月・3月

これだけは
見逃せない!
おすすめの
この1点

優美で繊細、平安後期の美学を感じる仏さま

国宝 千手観音像

2月9日(火)～3月22日(月・休) 本館2室 国宝室



●千手観音像 平安時代・12世紀
修理後初めてのお披露目です

もし、皆さんが千本の腕を持つ人形を描くとしたら、どんな姿を描きますか？

千手観音は、正式には千臂千眼観世音菩薩あるいは千手千眼観世音菩薩といわれるように、千本の手とその一々の手のひらに一つの眼を持った観音です。普通に考えたらとても異様な姿であると思いますが、自在に世の中を観察し人々のあらゆる願いに応じて救いの手を差し伸べるとされる観音菩薩への信仰が盛んになる中で、より強い救済力をもった姿として生み出されたと考えられています。

造形化にあたっては、何本かの大手と多数の小手を組み合わせる形式や、経典に説かれるように四十二本の大手で千手を代表させる形式が多く行われています。時代による表現様式の違いがあるのはもちろんですが、国による違いとして、中国では観音像本体を圧倒するような勢いで手を強調した表現をする場合が多く見られるのに対し、日本では観音像本体とのバランスをとった抑制の効いた表現が多く見られるようです。

この画像では左右各二十一本、合計四十二本の大手とその間に遠目では見えないくらいの無数の小手を、観音像の鳩尾中央あたりを中心とした均整の取れた円形の中に配置しています。それに合わせた光背の一部がふつくと膨れた、一種可愛らしい姿。何事においても優美さを追求した平安後期の宮廷貴族たちの造形感覚が発揮されています。更に眼を細部に向けても、柔らかなで繊細な立体感が表現された手指、着衣に見られる極細の截金線による緻密で多様な文様や白色による照暈(ハイライト)など、やはり平安後期の繊細優美な感覚を見ることが出来ます。その一方で、観音の左側に配された婆藪仙と右側の功德天には、肥瘦のある描線や動勢をはらんだ着衣の表現など、鎌倉時代の仏画へと繋がる表現も見られ、この画像が平安後期も鎌倉時代により近い時期の作であることがうかがえます。

平成十八年度から二十年度まで三年度にわたる修理を実施し、画面が以前よりも見やすくなりました。今回が修理後最初の展示となります。数少ない平安時代の千手観音画像の優品を、是非この機会に細部までじっくりとご覧ください。

(沖松健次郎)



よみがえる宮廷
特集陳列
「有職」

本館特別2室 企画展示

2月3日(水)～3月28日(日)

王朝時代の宮廷人は、奥深い宮殿のなかで、格調高い調度品にかこまれ、色あざやかな服飾に身をつつみ、優雅な動作で儀礼を繰り返す日々をおくっていました。この宮廷儀礼における礼法・建築・服飾・調度品などに関する知識を「有職」といいました。その後、応仁の乱をはじめとする争乱のうちに、宮廷は荒廃して儀式も途絶えがちになりましたが、やがて江

戸幕府が開かれて平和の気運がみなぎるうちに、重要な儀式が再開され、伝統的な形式の宮殿が再建され、服飾・調度品も製作されました。その実現には有職の貢献がありました。ここに、昔の宮廷を再現しうる知識と情報が集積されていたのです。この特集陳列では、近世の宮廷の復興において、有職が果たした役割についてご紹介します。

(猪熊兼樹)



飛香舎調度のうち二階棚 江戸時代・19世紀
飛香舎は別名を藤書といひ源氏物語などの古典で有名な後宮の御殿です。この二階棚は、江戸時代に復興された飛香舎で用いられたものです。



旧儀式図画帖 明治時代・19～20世紀
江戸末期の宮廷に奉職した藤島助順が、宮廷行事を網羅的に記録した図画帖。これは光格上皇が復興した修学院離宮への御幸の場面です。

桃の節句のひな飾り
特集陳列
「おひなさまと人形」

本館14室 工芸

2月16日(火)～3月28日(日)

三月三日は「桃の節句」といい、江戸時代以降、女子の健やかな成長を祈って、雛人形を飾る風習が広まりました。はじめは紙で作られた簡素なつくりの雛人形が飾られましたが、時代が下るにつれて、美しい裂で仕立てられた装束を身にまとった坐雛が主流になりました。当館には、江戸時代中期から後期にかけて生まれた雛人形の数々が所蔵され、毎年、ひな祭り

の季節にお飾りして皆様と共に桃の節句をお祝いいたします。関西好みの次郎左衛門雛、関東好みの古今雛をはじめ、牙首雛や由緒ある雛道具などを展示いたします。赤子のふくよかであららしい姿を写した御所人形も、展示室にてお待ちしております。

(小山弓弦葉)



牙首雛 一式 江戸時代・19世紀 三谷てい氏寄贈
象牙で顔や手を彫り、胴部分を木目込みにした精巧な造りにご注目！

宮廷に伝わる雅やかな楽と舞
特集陳列
「舞楽装束」

本館9室 能と歌舞伎

1月13日(水)～3月7日(日)

平安時代より、宮廷では大陸から伝わった雅楽が年中行事の折々に催されるようになりました。雅楽はしばしば舞とともに催され、中国から伝わった唐楽には赤系の装束を用いた左方の舞、朝鮮より伝わった高麗楽には緑系の装束を用いた右方の舞があります。今回の展示でご紹介する納曾利と陵王は、それぞれがつかい舞

とされ、同時に演じられることが多い演目です。舞楽の中でも、特に動きのある走舞で、その面と装束にも走舞ならではのスタイルがあります。舞楽の様子を描いた絵画や演じる様を表した人形、雅楽楽器などをあわせて紹介し、宮廷で行われる舞楽のみやびやかな世界をご覧ください。

(小山弓弦葉)



陵王桶襦 雲に龍丸模様 江戸時代・19世紀



納曾利桶襦 萌葱地桐唐草に鳳凰丸模様 江戸時代・19世紀

緑取りの網毛が華やかさをそえる桶襦は、動きのある走舞に特有の装束

近代化を支えた欧米の書物
シリーズ「歴史を伝える」
特集陳列

「東京国立博物館の 洋書コレクション2 ―初期博物館の図書収集―」

1月19日(火)～3月7日(日)

明治五年(一八七二)に創設された博物館は、新国家の近代化のための知的資源の供給元として大きな期待を担っていました。博物館は現物資料の収集とともに、自然科学や産業技術を伝える欧米の書籍の収集に取り組みました。特に文部省―内務省―農商務省と所管官庁が変遷した「初期博物館」と言うべき時代には、多くの洋書が博物館の蔵書に加わりました。情報流通網も未整備なこの時代に、外国から

縄文時代の卓越した木工技術
考古相互貸借事業・テーマ展示

「埼玉県寿能泥炭層遺跡 出土の木製品と漆製品」

12月8日(火)～3月7日(日)

東京国立博物館では、地方の博物館と考古資料相互活用促進事業を毎年進めています。今回は埼玉県立さきたま史跡の博物館から借用した埼玉県寿能泥炭層遺跡出土資料の展示を行っています。

本遺跡は、低湿地性であったために豊富な木

図書を入手することとは大きな困難が伴いました。外国の博物館との交換、出張する官吏に委託しての購入、博物館幹部自身の蔵書からの寄贈など、さまざまなルートを通じて収集が図られました。今回の展示では、明治前期における博物館の洋書収集を通じた知識獲得の努力を、これらの資料を通してご覧いただきます。

(田良島哲)

『建築計画図集』 K・F・シンケル著
1873年
ドイツの新古典主義建築を代表するシンケルの計画図を集成したもので、これは1880年に開館した「旧博物館」(Altes Museum)の図



飾り弓残欠 埼玉県さいたま市大宮区寿能泥炭層遺跡出土 縄文時代(後期)・紀元前2000～紀元前1000年 埼玉県教育委員会蔵
漆で美しく装飾された弓。縄文人の木工技術の高さを今に伝える貴重な遺物です

黒田清輝―バルビゾン派に寄せる思い
特集陳列

「農村(田園)へのまなざし」

2月23日(火)～4月4日(日)

平成十九年度から始まり、今回で四回目となる黒田清輝の特集陳列では、「田園へのまなざし」をテーマに展示を行います。「湖畔」などで知られる明治大正期の洋画家黒田清輝は、日本に印象派風の光の表現をもたらしましたが、近代化していく都市を好んで描いた印象派の画家たちとは異なり、田園を愛し、バルビゾン派に共感を寄せました。フランス留学中は、パリ郊外のグレー・シュル・ロアンを中心に描き、明治二十六年(一八九三)の帰国後は風景の中に人物群像を配して抽象的な概念を表現する、いわゆる「構想画」のテーマに農耕作業を選び、日本の田園を描いています。黒田以前にバルビゾン派を学んだ浅井忠の「春畝」、明治三十三年(一九〇〇)から一年間のフランス留学中に西欧の田園風景を描いた作品も展示いたしますので、両者のバルビゾン派受容の違いや、田園のとらえ方などをご鑑賞ください。

黒田記念館では通常の展示に加え、三月には「昔語り」の制作過程を跡づける画像展示を行います。この作品は黒田が帰国後、初めて取り組んだ大作で、木炭デッサン、油彩による下絵などを自身が主宰する白馬会の展覧会に出品し、その制作過程をも日本に紹介しようとした。それらの作品とともに、特殊撮影の画像を展示します。

(山梨絵美子)

右: 枯れ野原(グレー) 黒田清輝筆 明治24年(1891) 本館18室で展示
パリ郊外の農村グレー・シュル・ロアンは黒田が好んで訪れた場所です

下: 昔語り下絵 構図Ⅱ 黒田清輝筆 明治29年(1896) 黒田記念館で展示
「昔語り」は明治31年(1898)に完成しましたが、昭和20年(1945)に戦災により焼失しました



気になる
この部屋
この作品

法隆寺宝物館第2室 金銅仏

古代日本の仏像の様式

重文 観音菩薩立像

通年展示

法隆寺 献納宝物には七世紀を中心とする時期に造られた小型の金銅仏(銅で鑄造し、鍍金を施して仕上げた仏像)が四十九件(五十七体)あり、「四十八体仏」とも呼ばれて親しまれています。

これらは大きさから見ても、その多くが個人的な礼拝像として造られたと考えられます。各像に見られる様式は多彩で、七世紀から八世紀初めにかけて日本で展開する仏像様式がほとんど尽くされているといっても過言ではありません。日本古代の仏像のもつ豊かな造形世界をご堪能ください。
(岩佐光晴)

◎観音菩薩立像 飛鳥時代・7世紀
腰をやや左に捻って立つ、しなやかな姿が美しい。耳飾りなどの装身具も華やかで、中国・初唐期の仏像の影響が認められます。



本館11室 彫刻

修理後の初公開

重文 愛染明王坐像

3月16日(火)～7月4日(日)



◎愛染明王坐像(右)と厨子(左) 鎌倉時代・13～14世紀
愛染明王の背後の壁には水牛に乗る焰魔天が描かれています

本館13室 刀剣

華やかな逆丁子刃

重文 短刀

銘 備中国住次直作

延文三年十一月日

12月8日(火)～3月14日(日)

広めの身幅に反りがわずかについた姿、板目の冴えた地鉄、揺らめく焰のような動きのある、激しく華やかな逆丁子(丁子形の刃文が鋒に向かって斜めになっているもの)の乱れ刃がみどころです。

備中国はかつて備前、備後とともに吉備国の一部で、現在の岡山県倉敷付近にあたります。吉備国は「真金吹く(鉄を精錬する)きびの中山」と古今集に歌われているように古来鉄の生産地として名高く、平安時代以降も名工、名刀を輩出しました。次直は南北朝時代の備中青江派を代表する刀工で、その履歴は不詳ですが、曆応から延文年間の作品が伝わり、なかんずく本作は同工の代表作です。
(立道恵子)

◎短刀 青江次直作 銘 備中国住次直作 延文三年十一月日 南北朝時代・延文3年(1358) 渡辺誠一郎氏寄贈 奥州伊達家に伝わった名品です



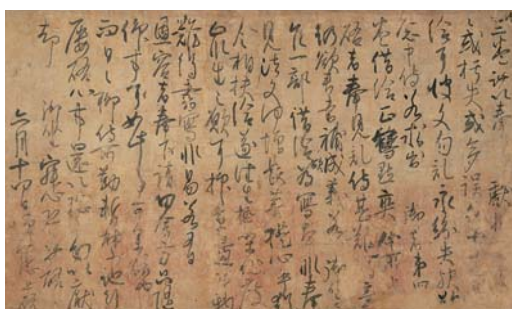
本館3室 宮廷の美術

平安貴族の書風を伝える

重文 書状

慶滋保胤筆

1月26日(火)～3月7日(日)



◎書状 慶滋保胤筆 平安時代・10世紀
格調高い表現と記された文字と行のバランスから、謹厳な学者の雰囲気が出ています

慶滋保胤は平安時代中期の貴族で文章家として活躍した人物。この書状は、彼の自筆として残された唯一のもので、部分的に文字が欠け、宛名もなく詳しい内容は不明ですが、用いられている表現から、目上の人物に対し自らが写経の校訂を行うために経巻を借用したいと依頼している手紙と思われる。当代屈指の学者であつた保胤の性格を表した様な謹厳な書風で一文字ずつ記されており、格調高い雰囲気を感じ取れます。また文字は当時流行した和様体の雰囲気を残し、貴族文化を今に伝えている作品です。
(高梨真行)

表慶館第2室 中国陶磁

広田松繁

中国陶磁コレクション

豆彩東蓮文鉢

2月6日(土)～7月25日(日)

東京国立博物館の東洋部門の展示は、いくつかの寄贈コレクションによって支えられています。横河民輔コレクションとともに当館の中国陶磁の収蔵品の中核をなす広田松繁コレクションをご紹介します。広田松繁氏(一八九七～一九七三)は十二歳より古美術商としての道を歩み、鑑賞陶器とよばれる分野のパイオニアとして活躍され、隠退後は不孤齋と号しました。氏から御寄贈を受けた中国陶磁を中心とするコレクション四百九十六点は、鋭い鑑識眼によって精選を経た個性的な内容によって広く知られています。
(今井敦)

豆彩東蓮文鉢 景德窯 天清雍正年製銘 清時代・雍正年間(1723～1735) 広田松繁氏寄贈 精巧で格調高い作風を誇る清朝官窯最盛期の優品です



PART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び
講座・講演会・解説

講演会

「法隆寺献納宝物の金工品について
—わかったこと、わからないこと—

日時: 2月20日(土) 13:30~15:00

会場: 平成館大講堂

定員: 380名(先着順) 聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

講師: 加島勝(当館博物館教育課長)

「茶の湯釜について」

お茶の世界には欠かせない釜、その侘びさびの美についてお話いたします。

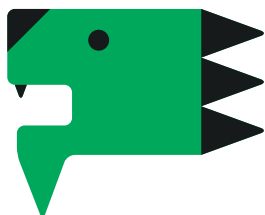
日時: 3月27日(土) 13:30~15:00

会場: 平成館大講堂

定員: 380名(先着順) 聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

講師: 原田一敏(当館上席研究員)

教育普及
事業!!



みどりのライオン
みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

また、本館インフォメーションでは、生涯学習ボランティアが製作した当館の案内パンフレットの点訳版も配布しております。
まだまだ始まったばかりですが、「全てのお客様へのサービス」を心に抱きながら行っているボランティアの今後の諸活動にご期待いただければと思います。



配布中の点訳版
案内パンフレット

列品解説

東京国立博物館の研究員による展示解説です。

「慈恵大師のこと」

2月9日(火) 14:00~14:30 本館11室

講師: 鷲塚麻季(教育講座室長)

慈恵大師の偉業と共に、彫像に表された姿をじっくり見てみましょう。

「蒔絵の制作技法」

2月16日(火) 14:00~14:30 本館13室

講師: 河内晋平(列品管理課アソシエイトフェロー)

漆芸作品にみられる蒔絵とはどのような技法なのか、その工程をわかりやすくお話しします。

「獅子鎮柄香炉と塔鏡」

2月23日(火) 14:00~14:30 法隆寺宝物館第5室

講師: 加島勝(博物館教育課長)

奈良時代のこれらの供養具についてその源流に迫ります。

「東日本の弥生再葬墓」

3月2日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室

講師: 品川欣也(工芸・考古室研究員)

東日本の弥生再葬墓について現代の墓制との比較を交えてご紹介します。

「色々糸威二枚胴具足」

3月9日(火) 14:00~14:30 本館6室

講師: 池田宏(上席研究員)

この具足の伝来や形式についてお話しします。

「文化財の公開と保存について」(7ページ参照)

3月16日(火) 14:00~14:30 平成館企画展示室

講師: 神庭信幸(保存修復課長)

文化財の公開と保存の大切さについて具体的な例を挙げてお話しします。

「草書五言律詩軸の修理」(7ページ参照)

3月30日(火) 14:00~14:30 平成館企画展示室

講師: 土屋裕子(保存修復室主任研究員)

草書五言律詩軸の修理を具体的な工程と修理によって新たに発見されたことについてお話しします。

見学ツアー

“保存と修理の現場へ行こう”

特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」(7ページ参照)の関連企画です。文化財の保存と修理についての解説および修理室の見学ツアーを行います。刀剣や書画などの修理、目に見えない内部構造を知るためのX線調査の現場をご案内します。

日時: ①3月18日(木) 13:30~15:40

②3月19日(金) 13:30~15:40

※①②とも内容は同じ

定員: 各回40名(応募多数の場合は抽選)

申込方法: 往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・参加希望日を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申送ください。

※1枚のはがきで、1回分2名までお申し込みいただけます。

※2名の場合はそれぞれの氏名をお書きください。

申込先: 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館教育講座室「見学ツアー」係

締切: 2月26日(金)必着

PART
2

五感を使った美術体験 ワークショップ

※当落に関らず連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の連絡がない場合は、
通信トラブルの可能性もありますので、教育普及室に電話(03-3822-1111代)でお問い合わせください。

大人向けワークショップ

「春のもようのお皿作り」

梅や桜の季節にちなんだ作品が多く展示されている3月の博物館で、春の訪れを感じてみませんか？ 満開の花だけでなく、開こうとする蕾、花びらの舞い散る風情にも魅せられた日本人は、古くから絵画、染織、やきものなど多くの作品に春の花のさまざまな姿をあらわしてきました。展示作品をじっくりと見て、作品や伝統的な模様をヒントに、あなたのみつけた春をお皿にデザインしてみましょう。

日時：①3月12日(金) 17:30～20:00

②3月14日(日) 13:00～15:30

会場：平成館小講堂

対象：一般(高校生以上)

定員：各回20名(応募者多数の場合は抽選。1回の申し込みで2名までお申し込みいただけます)

参加費：無料(ただし当日の入館料が必要です。高校生以下と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)

申込方法：往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで ①参加者全員の氏名(ふりがな) ②郵便番号・住所 ③電話番号(FAX番号) ④参加希望日 を記入の上、下記申込先へお送りください。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育普及室「春のお皿」係

FAX: 03-3822-3010

電子メール: edu@tnm.jp (件名に「〇月〇日(希望日) 春のお皿」とご記入ください)

締切：①②ともに2月28日(日)必着

※上絵付け専用のサインペンによる絵付け体験です。どなたでも、簡単に絵付けをお楽しみいただけます。

※絵付けをした作品は後日、焼成後のお渡しとなります。(ご来館のうへでのお渡し、もしくは着払いでの発送のどちらかをワークショップ当日お選びいただけます)



PART
3

あなたの鑑賞をサポート ボランティアによる事業

東京芸術大学学生ボランティアによる ギャラリートーク

東京芸術大学大学院美術研究科修士課程芸術学専攻の学生による作品解説です。

『洛中洛外図屏風(舟木本)』—かがやくみやこ—

2月7日(日)、13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日) 15:30～15:50

本館7室(本館1階エントランス集合)

解説：浦澤倫太郎

東京芸術大学学生ボランティアによる 制作工程模型展示

国宝 孔雀明王像ができるまで

期間：1月13日(水)～4月18日(日)

展示：本館20室 みどりのライオン



東京芸術大学大学院美術研究科博士課程文化財保存学専攻の学生による、制作工程模型を展示します。

古来仏画を描く際にはさまざまな装飾技法が使われていました。この展示では、細かく切った金箔などを画面に貼り、文様をあらわす「裁金」という技法に着目します。当館で所蔵する国宝「孔雀

●孔雀明王像(部分) 平安時代・12世紀

明王像」を題材にして、仏画の制作工程を5段階に分けた模型を展示いたします。裁金の技法を使った作品がどのような工程を経て作られたのか展示室でご覧いただければと思います。また制作に使用した材料や道具類もあわせて展示しますので、この機会に平安仏画制作のしくみをご理解いただければ幸いです。2月には制作者によるギャラリートークも予定されていますので楽しみに。

■ギャラリートーク「裁金—0.15ミリの超絶技巧」

2月3日(水)、12日(金)、28日(日)、3月2日(火)、11日(木)、21日(日)

15:00～15:30 本館20室(本館1階エントランス集合)

解説：京都絵美(東京芸術大学 文化財保存学専攻 保存修復日本画)

バリアフリー活動の試み

当館では、生涯学習ボランティアによるさまざまな活動を行っており、ガイドツアーもそのひとつです。本館と表慶館の建築をご案内する「たてもの散歩」ツアーでは、9月から1月1回(主に第3土曜日)、手話通訳付きガイドの試行が始まりました。ツアーには手話通訳が2名入り、交替でたてものの説明を通訳していきます。人名や建築用語は大きな文字パネルを用意して、わかりやすく解説します。9月の開始から、手話通訳のある回には欠かさずご参加くださるリピーターのお客さまもいらっしゃるそうです。



手話通訳がたてもの魅力をご案内

イベント開催のお知らせ

◆瀬崎明日香 ヴァイオリンコンサート

＃強さと可憐さを併せ持つ実力派ヴァイオリニスト＃

日時：4月4日(日) 開場14:30 開演15:00
会場：平成館ラウンジ
出演：瀬崎明日香(ヴァイオリン)、マルコ・グリサンティ(ピアノ)
曲目：パガニーニ：カンタービレ Op.17／
クライスラー：中国の太鼓／クライスラー：夜夜中の鐘／
ベートーヴェン：スプリングソナタ ほか
料金：一般 4,500円(全席自由)
友の会・キャンパスメンバーズ割引 3,500円
※当日は、コンサートチケットで、平常展をご観覧いただけます。
主催：東京国立博物館、サロン・ド・ソネット



チケットのお求め方法

●当館正門観覧券売場でのチケット販売

開館日の9:30～閉館30分前まで

●電話予約販売

申 込 先：東京国立博物館総務課イベント担当 TEL 03-3821-9270
受付時間：月曜日～金曜日の9:30～17:00(祝日は除く)
引 換：公演当日、9:30～当館正門観覧券売場にて現金引換にてお渡しします。
お問い合わせ：東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL03-3821-9270
月曜日～金曜日の9:30～17:00(祝日は除く)
※各イベント詳細は、当館ホームページでご確認ください。
※お車でのご来館はご遠慮ください。

◆東京・春・音楽祭 ―東京のオペラの森 2010―

今年で6回目。東京の春の訪れを音楽とともに祝う音楽祭。
東京国立博物館で春の喜びを!!

①ミュージアム・コンサート 東博でパッハ vol.4 児玉 桃(ピアノ)

日時：3月28日(日) 開場13:15 開演14:00
会場：平成館ラウンジ
出演：児玉 桃(ピアノ)
曲目：J.S. バッハ：イタリヤ風協奏曲 へ長調 BWV971／
パルティータ第2番 ハ短調 BWV826／
平均律クラヴィア曲集第1巻より ほか
料金：3,000円(全席自由)
※当日は、コンサートチケットで、平常展をご観覧いただけます。



②ミュージアム・コンサート 東博でパッハ vol.5 佐藤俊介(ヴァイオリン)

～ J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全曲演奏会 第一夜
日時：4月1日(木) 開場18:30 開演19:00
会場：法隆寺宝物館エントランスホール
出演：佐藤俊介(ヴァイオリン)

曲目：J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番 ト短調 BWV1001 ほか
料金：3,000円(全席自由)

③ミュージアム・コンサート 東博でパッハ vol.6 佐藤俊介(ヴァイオリン)

～ J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全曲演奏会 第二夜
日時：4月6日(火) 開場18:30 開演19:00
会場：法隆寺宝物館エントランスホール
出演：佐藤俊介(ヴァイオリン)
曲目：J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 二短調 BWV1004 ほか
料金：3,000円(全席自由)

④ミュージアム・コンサート ヴィーヴ! サクソフォーン・クワルテット～サクソフォーンの響き

日時：3月14日(日) 開演11:00、4月2日(金) 開演11:00
会場：本館エントランスホール
出演：ヴィーヴ! サクソフォーン・クワルテット(サクソフォーン四重奏)
料金：無料(ただし当日の入館料は必要)

主催：東京・春・音楽祭実行委員会

共催：東京国立博物館

お問合せ：東京・春・音楽祭実行委員会 TEL 03-3296-0600

URL：http://www.tokyo-harusai.com/

※「東京・春・音楽祭 ―東京のオペラの森 2010―」のチケットは、東京文化会館チケットサービスほか、各種プレイガイドにて販売。

◆表慶館(アジアギャラリー)閉室のお知らせ

2月1日(月)～2月5日(金)は、表慶館は展示ケースメンテナンスのため全室閉室します。

◆春の庭園開放

3月13日(土)～4月18日(日)は恒例となりました、春の庭園開放を行います。
3月末から4月上旬にかけてはさまざまな種類の桜が咲き競います(本誌4ページ「博物館でお花見を」をご参照ください)。庭園には、レストラン ラ・コール脇からお入りください。入園は無料(ただし入館料は必要)、荒天により中止となることもありますのでご注意ください。

◆「細川家の至宝―珠玉の永青文庫コレクション―」招待券プレゼント

本誌6ページで紹介した「細川家の至宝―珠玉の永青文庫コレクション―」展(4月20日(火)～6月6日(日))の招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は3月18日(木)必着。

※プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号でいちばん面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館
広報室「ニュース2・3月号」プレゼント係



◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・平常展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。賛助会員には、特別会員と維持会員との2種類があります。

年会費

特別会員 100万円以上
維持会員 法人 20万円
個人 5万円

主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付
- *賛助会員のお申し込みは随時受け付けています。
- *お問い合わせ
東京国立博物館総務部 賛助会担当
TEL 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2009年12月20日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社コア 様
株式会社精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社毎日新聞社 様
株式会社大林組東京本社 様
株式会社ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社ミロク情報サービス 様
読売新聞東京本社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様

維持会員

木村 則子 様
早乙女 節子 様
宇津野 和俊 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
藪内 匡人 様
服部 禮次郎 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保のり子 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星望 由尚 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
帖佐 誠 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
牧 美也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
古屋 光夫 様
横田 穂美子 様
松本 澄子 様
高橋 泰光 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 泰子 様
田村 久雄 様

維持会員 団体

東京電力株式会社 様
朝日新聞社 様
株式会社東京放送 様
株式会社三冷社 様
株式会社東京美術 様
株式会社鶴屋吉信 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
株式会社 古美術藝本 様
日本ハーデス株式会社 様
謙慎書道会 様
社団法人 全国学校栄養士協議会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京芸芸館 様
シズンホールディングス株式会社 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットイニシアティブ 様
公和図書 株式会社 様
(株)小西美術工芸社 様

野澤 智子 様
有賀 浩治 様
吉田 幸弘 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
池谷 徳雄 様
脇 素一郎 様
高谷 光宏 様
青山 道夫 様
杉原 健 様
木谷 駿二郎 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
堤 勝代 様
山下 由紀子 様
平井 千恵子 様
秦 芳彦 様
高橋静雄 様
小西 暉也 様
澁谷 洋志 様
山下 照夫 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
高見 康雄 様
田中 望 様
三井 速雄 様
坂詰 貴司 様
吉田 靖 様
松本 雅彦 様
明珍 素也 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
狩野 祐光 様
大森 雅子 様
鈴木 幸一 様
折越 卓哉 様
渡辺 泰昌 様
平野 京子 様
安田 和正 様
細川 要子 様
鈴木 幸一 様
武藤 剛志 様
秋元 文子 様
土師 詔三 様
上塚 建次 様
櫛田 良豊 様
鏡 賢志 様
村木 久晃 様
高久 真佐子 様
小川 春夫 様
平山 利恵 様
陶山 哲夫 様
井出 雪絵 様
佐藤 禎一 様
岡本 博司 様
岡本 恭子 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
眞中 富士男 様
(ほか45名1社、順不同)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 年会費 1万円 発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート 一般 4,000円 学生 2,500円

発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館平常展示館、東京国立博物館東洋館など一部展示館を閉館しています。

◆お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ホームページで
(郵便振替でのお申し込み)

*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください

*振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください

*振替手数料はお客様の負担となります

*ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号00140-1-668060

*振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◆お問い合わせ

TEL 03-3822-1111 (代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◆お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号 00100-2-388101

*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください

*振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください

*振替手数料はお客様のご負担となります

*次号より送付ご希望の場合、締切は2010年3月10日です

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブ更新などの情報をいち早くお届けします *ご登録は <http://www.tnm.jp/> から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30~17:00、2010年2月26日(金)~3月19日(金)の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、2010年2月27日(土)~3月22日(月・休)の特別展開催期間中の土・日・祝・休日は18:00まで(入館は閉館の30分前まで)。

休館日 毎週月曜日(祝日、休日の場合は翌日)

平常展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

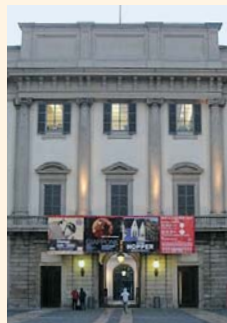
* ()内は20名以上の団体料金

*障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください

*満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*お申し込みに際してご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

TOPICS



パラッツォ・レアーレの
展覧会場入り口

◆ミラノ・パラッツォ・レアーレ
「日本・その力と輝き1568-1868」
イタリア・ミラノにて、「日本・その力と輝き 1568-1868」が開催されています。
ミラノは、金融やファッション、音楽の中心としてよく知られています。「日本・その力と輝き 1568-1868」展は、ミラノの中心にあるドウオーモの隣に位置する宮殿美術館で開催される日本美術の展覧会で、「ミラノにおける日本」の最大行事として企画されました。甲冑・刀剣、絵画、文学・書・茶の美術、工芸品など、国宝二件、重要文化財十四件を含む作品二百十四点によって、雅び

◆TNM&TOPPANミュージアム
シアター上映作品のお知らせ
VR作品 洛中洛外図屏風 舟木本「公開
3月28日(日)までの金・土・日・祝・振
替休日 10時、11時、12時、14時、15時、
16時上演 各回30名



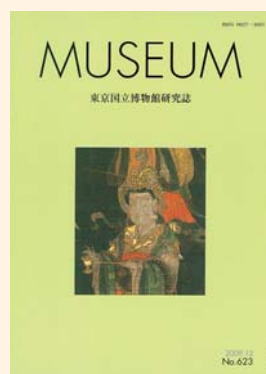
Japan. Power and Splendour 1568-1868、2009年12月7日(月)~2010年3月8日(月)、会場:ミラノ・パラッツォ・レアーレ、主催:イタリア・ミラノ市、モッタ社(24 ore motta culture)、特別協力:東京国立博物館、大阪市立美術館

な文化、武家文化、町人文化と多彩な美を展開した安土桃山から江戸時代までの日本文化を紹介する展覧会です。会場は約八百平方メートル。日本の建築空間を彷彿とさせる落ち着いた雰囲気、デイスプレイとなりました。(島谷弘幸)

バーチャルリアリティによる映像とナビゲーターの解説で、重要文化財「洛中洛外図屏風(舟木本)」に描かれた17世紀初頭の京の都のざわめきと人々の営みを実感できる、上演プログラムです。
※当日予約制 本館エントランスにて受付
「洛中洛外図屏風(舟木本)」
タッチパネル展示
見たいところ、知りたいところをズー



「洛中洛外図屏風(舟木本)」タッチパネル



◆MUSEUM 623号
(2009年12月15日発行)の掲載論文
①「信春」印の鬼子母神十羅刹女像」松嶋雅人(当館特別展室長)
②「法隆寺金堂四天王立像・補遺」岩田茂樹(奈良国立博物館学芸部長補佐)
③「欧米における国際展覧会実施運営の諸問題」第五回国際展覧会オーガナイザー会議報告」鬼頭智美(当館国際交流室長)

◆国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展覧会「THE ハプスブルク」1月6日(水)~3月14日(日)

〈奈良国立博物館〉

特別陳列「お水取り」2月6日(土)~3月14日(日)

〈九州国立博物館〉

京都妙心寺 禅の至宝と九州・琉球 1月1日(金・祝)~2月28日(日)

2010年
2月

東京国立博物館2010年2月・3月の展示・催し物

2010年
3月

1 MON	休館日
2 TUE	15:00
3 WED	14:00 15:00 「截金」15:00 本館20室
4 THU	ギャラリートーク「土偶の終焉とその後」15:30 本館20室*1 14:00
5 FRI	15:00
6 SAT	記念講演会「縄文土偶の“発生”と“成長”、そして“かたち”の面白さ」13:30 平成館大講堂*1 11:00 13:30 14:00 15:00 13:30 平成館大講堂*1 11:00 13:30 14:00 15:00
7 SUN	13:30 14:00 14:30 「洛中洛外図屏風(舟木本)」15:30 本館7室
8 MON	休館日
9 TUE	列品解説「慈恵大師のこと」14:00 本館11室
10 WED	14:30 14:30
11 THU	14:00 14:00 14:00 14:30
12 FRI	14:30 「截金」15:00 本館20室
13 SAT	中学生のためのワークショップ「めざせ!考古学者」16:30 本館特別5室、20室*1 14:00 14:30 「洛中洛外図屏風(舟木本)」15:30 本館7室
14 SUN	14:30 「洛中洛外図屏風(舟木本)」15:30 本館7室
15 MON	休館日
16 TUE	列品解説「蒔絵の制作技法」14:00 本館13室 15:00
17 WED	14:00
18 THU	14:00 14:30
19 FRI	15:00
20 SAT	月例講演会「法隆寺献納宝物の金工品について」13:30 平成館大講堂*2 11:00 *3 13:30 14:00 15:00 「洛中洛外図屏風(舟木本)」15:30 本館7室
21 SUN	12:30、14:00 14:00 14:30 「洛中洛外図屏風(舟木本)」15:30 本館7室 「国宝 土偶展」
22 MON	休館日
23 TUE	列品解説「獅子鎮柄香炉と塔鏡」14:00 法隆寺宝物館第5室 「長谷川等伯」
24 WED	14:30
25 THU	14:00 14:30
26 FRI	夜間開館(20:00まで) 14:30
27 SAT	時間延長(18:00まで) 記念講演会「やまと絵師・長谷川等伯―信春時代の仏画から智積院障壁画へ」13:30 平成館大講堂*4 11:00 13:30 14:00 15:00 平成館大講堂*4 11:00 13:30 14:00 15:00
28 SUN	時間延長(18:00まで) ワークショップ「水墨画に挑戦!」10:30、14:00 平成館小講堂*4 11:00 14:00 14:00 「截金」15:00 本館20室

- ＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス
＝ボランティアによる浮世絵展示ガイド、集合場所：本館1階エントランス
＝ボランティアによる陶磁エリアガイド、集合場所：本館1階エントランス
＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス
＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館1階エントランス
＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室入口
＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館1階エントランス
＝ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所：本館1階エントランス
＝ボランティアによるための散歩ツアー、集合場所：本館1階エントランス
＝ボランティアによる茶会、集合場所：本館1階エントランス(参加費500円、先着30名、開始1時間前に集合場所で整理券配布)
＝ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所：本館1階エントランス(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ(勾玉作りコース、事前予約制、申込は締め切りしました)
＝芸芸ボランティアによるギャラリートーク、詳細は本誌13ページをご覧ください
＝黒田記念館開館日、木曜・土曜13:00～16:00
＝ボランティアによるガイドツアー「東博桜めぐり」、集合場所：本館1階エントランス、詳細は本誌5ページをご覧ください
＝ボランティアによる茶会「花見で一服」(呈茶式)、集合場所：庭園内応挙館(参加費500円、先着300名、12:00～15:00)、詳細は本誌5ページをご覧ください

1 MON	休館日
2 TUE	列品解説「東日本の弥生再葬墓」14:00 平成館考古展示室 15:00 「截金」15:00 本館20室
3 WED	14:00
4 THU	14:00
5 FRI	夜間開館(20:00まで) 15:00
6 SAT	時間延長(18:00まで) 記念講演会「長谷川等伯の新たな魅力―動物の感性を描く」13:30 平成館大講堂*4 11:00 13:30 14:00 14:30 15:00
7 SUN	時間延長(18:00まで) ワークショップ「屏風体験」11:00、13:00、14:30 応挙館*4 14:00 14:30
8 MON	休館日
9 TUE	列品解説「色々威二枚胴具足」14:00 本館6室
10 WED	14:30 14:30
11 THU	14:00 14:00 14:30 「截金」15:00 本館20室
12 FRI	夜間開館(20:00まで) 大人向けワークショップ「春のもようのお皿作り」17:30 平成館小講堂*5 14:30
13 SAT	時間延長(18:00まで) 13:30 14:00 14:30 春の庭園開放
14 SUN	時間延長(18:00まで) ミュージアム・コンサート ヴィーヴ! サクソフォン・クワルテット〜サクソフォンの響き11:00 本館エントランスホール*7 大人向けワークショップ「春のもようのお皿作り」13:00 平成館小講堂*5 14:30
15 MON	休館日
16 TUE	列品解説「文化財の公開と保存について」14:00 平成館企画展示室 15:00
17 WED	14:00
18 THU	見学ツアー「保存と修理の現場へ行こう」13:30 平成館小講堂*8 14:00 14:30
19 FRI	夜間開館(20:00まで) 見学ツアー「保存と修理の現場へ行こう」13:30 平成館小講堂*8 15:00
20 SAT	時間延長(18:00まで) 11:00*3 13:30 14:00 15:00
21 SUN	時間延長(18:00まで) 12:30、14:00 14:00 14:30 「截金」15:00 本館20室
22 MON	時間延長(18:00まで) 「長谷川等伯」
23 TUE	休館日
24 WED	14:30 博物館でお花見を
25 THU	11:00、14:30 14:00 14:30
26 FRI	14:30
27 SAT	月例講演会「茶の湯釜について」13:30 平成館大講堂*6 11:00、14:30 12:00*9 13:30 14:00
28 SUN	ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.4 児玉桃(ピアノ)14:00 平成館ラウンジ*10 11:00 14:00 14:00
29 MON	休館日
30 TUE	列品解説「草書五言律詩軸の修理」14:00 平成館企画展示室 11:00、14:30 15:00
31 WED	14:00

- ＝ミュージアムシアター「洛中洛外図屏風 舟木本」上映 10:00 11:00 12:00 14:00 15:00
16:00 各回30名、集合場所：本館1階エントランス 詳細は本誌15ページをご覧ください
*1: 特別展「国宝 土偶展」関連事業、記念講演会および2/13のワークショップの申込は締め切りしました。詳細は前号5ページまたは当館ホームページをご覧ください
*2: 詳細は本誌12ページをご覧ください
*3: 2/20、3/20は手話通訳付きです。詳細は本誌13ページをご覧ください
*4: 特別展「長谷川等伯」関連事業、事前申込制、詳細は本誌2ページ、前号6ページまたは当館ホームページをご覧ください
*5: 事前申込制、詳細は本誌13ページをご覧ください
*6: 詳細は本誌12ページをご覧ください
*7: 無料イベントです。詳細は本誌14ページをご覧ください
*8: 事前申込制、詳細は本誌12ページをご覧ください
*9: 整理券配布はありません。会場となる庭園内茶室応挙館へ直接お越しください
*10: 有料イベントです。詳細は本誌14ページをご覧ください
*上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。
*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。